



SHO



TAKE FREE

1

2024 No.618



独立行政法人地域医療機能推進機構 人吉医療センター 広報誌

地域がん診療連携拠点病院・基幹型臨床研修病院・協力型臨床研修病院・地域医療支援病院・災害拠点病院・熊本DMAT指定病院・救急指定病院・日本医療機能評価機構認定病院

■今月の PICKUP

緩和ケアの基本を学ぶ

「緩和ケア研修会 PEACE」レポート



■REPORT

「緩和ケア研修会PEACE」レポート

出前講座in人吉市保育園連盟

出前講座in慈光こども園「天使のちえぶくろ」

コンプライアンス研修

看護事例検討会

手作りコンサート開催

実習生感想

画像診断センターからのお知らせ

今年も立派な門松

職員情報

PEACE

report

2024年
1月27日

緩和ケアの基本を学ぶ

令和5年度JCHO人吉医療センター

緩和ケア研修会(PEACE)開催!!

緩和ケアとは、がん等の疾患によって生じる、身体やこころの痛みを和らげる治療やケア、サポートなどの総称です。

本研修では、がん等の診療に携わる全ての医療従事者が、基本的な緩和ケアについて正しく理解することを目的に、緩和ケアに関する知識や技術、態度などを学びました。

今年度は、県内外から医師や看護師、薬剤師や管理栄養士、作業療法士や歯科衛生士など23名が参加。ロールプレイとグループワークを通し知見を深めました。

研修スケジュール

- 1 オリエンテーション
- 2 E-learning (オンライン事前学習)の復習
- 3 コミュニケーションについて(ロールプレイ)
----- 昼 休 憩 -----
- 4 グループワーク/1
事例を通し、症状の緩和について、様々な職種の見点から話し合います。
- 5 グループワーク/2
1の事例を通し、療養場所や活用できる社会資源などについて、話し合いを深めます。

ロールプレイ



相手の表情をみながら真剣に取り組んでいます。



がん医療において重要視されるコミュニケーションとは

ロールプレイの経験を通して患者・医師間のコミュニケーションの重要性を認識するとともに、患者役を体験することで、患者の置かれている状況や気持ちを理解する。

ROLLPLAY

グループワーク

さまざまな職種の専門性や価値観の違いを理解し 目指すべき医療へ

評価に基づいたマネジメントについて具体的に考えるグループワーク。さまざまな専門性や価値観を持った、メンバーが互いの意見を尊重しながら、よりよい治療・ケアの提供を目指すチーム医療について知見を深める。



受講生の感想

E-learningでは、普段の業務や知識の振り返りになった。そして、グループワークでは、様々な職種の視点から話し合うことで、新たな気づきや知識を深めることができた。参加して、とってもとっても良かった!

看護師

グループワークを通して内容を深めることができて良かった。楽しかった。

看護師



「ロールプレイ
お疲れ様～」

演者を労う受講者

Off Shot



人吉医療センターでは、次年度も緩和ケア研修会(PEACE)の開催を予定しております。
ご興味のある医療従事者は、是非、医療福祉連携室までお尋ねください。

JCHO人吉医療センター 医療福祉連携室 TEL:0966-22-2191(代表)

1月19日（金）人吉市内13園ある保育園で構成された人吉市保育園連盟の給食研修部様より、偏食や食が細い子どもたちへの対応について、講演依頼があり学校栄養教諭の先生とともに、講師を務めてまいりました。

人吉球磨の子どもの肥満率、朝食欠食率の現状と学校給食の栄養量やアレルギー対応など学童期の集団の栄養支援について栄養教諭の先生がご講演された後、私は当院で成長障害や貧血、肥満など小児科医から依頼を受け、栄養指導を行った個別栄養支援について講演させて頂きました。



その後、保育園の先生たちとグループワークの時間にお話しさせてもらう時間もあり、栽培や調理を通して食支援を行っていること、水害以降保育園でも備蓄食を1-2日分行っていることなどお聞きすることが出来ました。

食を通し、子どもたちの成長をサポートされている保育園の先生方を頼もしく思うと同時に、病院栄養士として様々なライフステージに沿った食支援を行えるよう研鑽していきたいと感じました。

栄養管理室 中村 利枝

1月23日（金）小児科の谷口医師より『乳幼児の病気について』と題しお話がありました。

病気の概要だけでなく、日頃の疑問や子育てに関する悩みなどの質問も寄せられ、日々の子育てに関する不安や悩みなども和らぐ機会となりました。

講義後、参加者より感想をいただきましたので、掲載いたします。



参加者の感想

- 病気のことはなかなか病院では聞けないことが多いので良かったです。
- 少しですが、これからの不安が少し解消されました。

- 勉強は苦手ですが、今日の講師の先生の話はとても聞きやすく、役にたちそうです。
- ありがとうございました。

- 病気について話を聞く機会がなかったので、良かったです。ためになりました。

- なかなか小児科の先生のお話を今日のようにゆっくりと聞ける機会がなかったのでとても貴重な時間でした！
- 質問をすることができ、今後の子育てに役立てていきたいと思えます。
- ありがとうございました。

- 子どもの病気についての知識は全くなかったので、とてもいい機会になりました。
- これからの不安はありますが、今日学んだ知識を生かしていきたいです。

本講座は、病気や医療についての正しい知識を得ていただき、病気予防とともに、小児の急な発症などにも慌てることなく、正しい受診・受療に繋がれることを目的に行っております。

R5年度

当院では、職員への研修が充実しています コンプライアンス研修

2023年度開催のコンプライアンス研修に参加させていただきました。

これまで、コンプライアンスに対する理解は漠然としていましたが、研修を受講し、身近な事例を通して理解を深めることができました。自分自身の中で、コンプライアンスの知識を身につけ、意識していくきっかけとなりました。

日頃の業務では特に、患者と関わり、多くの個人情報扱うこととなります。

今回の学びを心に留め、相手の立場や気持ちを常に考え、誠実に業務に取り組んでいきたいです。また、コミュニケーションを大切に、相手を思いやる心を忘れずに日々過ごしていきたいと思います。

医事課 水野 志保

R5年
12/14・21

部署や診療科を超えて、知識を共有 看護事例検討会

2023年12月14日、21日の2回に分けて、3年目看護師による看護事例検討会を開催しました。

この看護事例検討会は、3年目看護師が、年間を通して自身が経験した患者さんの事例をまとめて発表するものです。コロナ禍で3年ぶりの集合形式の発表会となりましたが、発表者11名、各回とも50名程度の看護スタッフの参加をいただき、活発な質疑応答もあって私自身も原点に戻り、ハッとさせられる内容の発表会でした。

3年目看護師にとって、日頃の業務をしながら、一人の患者さんの経過をまとめて、文献を使って考察し、発表をすることは、簡単なことではなかったと思います。しかし、自身の実践と内省的に向き合い、知見を言語化する経験は、今後の看護師人生にとって、とても有意義な時間であったと考えます。参加してくださった方も、違う部署や診療科に勤務する看護師の発表を聞いて、知識を共有する良い機会であったと思います。

7階病棟 尾方 希久子

R5年
12/22(金)

スタッフによる 手作りコンサート開催 🎵

ジングルベルやアベマリアなど、今季なじみのある曲が演奏されました。

哀愁漂うやさしく低い音色のファゴット、小鳥のさえずりのような柔らかく高い音色のフルート、これらを優しく包み込むピアノの音色を患者さんもスタッフも味わいました。

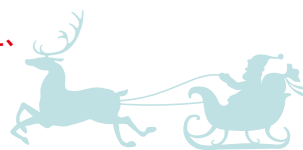
患者さんからは、「高尚な演奏だった」、「今年はクリスマスは無いと思っていたけど、味わえて良かった」と感想をいただきました。



8階病棟では、スタッフ手作りのクリスマスカードを夕食に添え、
クリスマスの雰囲気を楽しみました。
少しでも楽しんでいただけたら幸いです。



ピアノ 木下志保里さん(薬剤師) / フルード 谷口俊和先生(小児科医師)
ファゴット 村上鞠奈さん(薬剤師)



実習生感想

医学部から実習に来られました



地域医療実習として、3週間大変お世話になりました。

総合診療科を中心に、毎日の回診やカルテ記載、五木村診療所での問診や身体診察、訪問看護、救急外来、小児科、循環器内科、予防医療センター、1歳8ヶ月健診と、様々な経験をさせて頂きました。毎日の回診では、患者さんの状態を正確に確認、観察し、信頼関係を築くために、コミュニケーションの方法に工夫が必要であることが分かりました。また、カルテの書き方、アセスメントの仕方を丁寧に指導して頂くことができ、とても勉強になりました。

五木村診療所では、総合診療科の先生に問診、身体診察やカルテ記載のやり方を教えて頂き、実際に患者さんを問診、診察しカルテを書きました。最初は戸惑いもありましたが、なかなかできない貴重な経験だったと思います。訪問看護では、患者さん自身の疾患だけでなく、家族との関係など社会的な背景も考慮して在宅医療を調整していくことの難しさ、そしてやりがいを実感しました。

今回の実習を通して、たくさんのスキルを身につけることができたと同時に、自分の医学知識の未熟さを痛感しました。これからも勉強をし続けたいと思います。

総合診療科の先生を始め、各診療科の先生方、事務の方々、実習でお世話になった方々に心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

熊本大学医学部医学科5年 藤川あおい



今回の早期臨床体験実習では人吉医療センターで5日間実習をしました。短い時間でしたが、とても多くのことを学ぶことができました。

実習では、外来患者さんの診察の見学、入院患者さんの回診、他にも、患者さんの検査に同席したり、五木村診療所に訪問したりと、大変充実した実習になりました。

今回の実習で私が最も心に残っていることは、外来患者さんの診察で患者さんの話を聞くのはもちろん、触診・聴診といった基本的なことをしっかり行うことが患者さんに安心感を与えるということです。実際、訪問看護で患者さんのご自宅にお伺いした際にも、最近の若いドクターは触診・聴診を怠り、電子カルテの入力にばかり集中していて非常に残念だというご意見を頂きました。自分が数年後、医師として働くときには、このことを忘れずに患者さんと良い関係性を築ける医師になりたいと思いました。

また、人吉医療センターでは、高齢の患者さんが非常に多く、アドバンスケアプランニングなど終末期医療を実行するためにも、患者さんとのコミュニケーションは非常に大切だということを改めて感じました。

実習でお世話になりました先生方、病院職員の方々に心から感謝申し上げます。

熊本大学医学部医学科3年 崔 宰熏



今回、消化器外科の学外実習として人吉医療センターで1週間実習をさせて頂きました。今回の実習を振り返って1番のメリットだなと感じたのは毎日術野に入る機会があり、何度も手技をさせて頂けたことです。短い期間ではありましたが、多くの機会があったため自分でも成長がわかり、また先生からも1日目より早くなったねと声をかけて頂きました。先生方もオペがうまくなる、自分が成長するのが楽しくて外科をやっているとおっしゃっていて、その言葉の一端を体験し理解できただけでも今回の実習が意味のあるものにできたなと感じました。

また、外科というくりであったため消化器だけではなく呼吸器のオペや頸部の腫瘍の生検などもあり、今までの外科実習の総復習としても勉強になりました。実習時間外では先生方にご飯に連れて行ってもらい、楽しいながらもためになる話をさせて頂きました。外科として働く先生方のリアルな生活を感じる機会は大学での実習では無いので貴重でした。心より感謝申し上げます。

熊本大学医学部医学科5年 清原 拓郎

画像診断センターからのお知らせ

COVID19ワクチン接種後のCT・MRI・PET/CT予約について

COVID19ワクチン接種後のCT・MRI・PET/CT予約について、これまで4週間あけていただくことをご案内しておりましたが、当院にて再検討し、下記の通りとさせていただきます。

ご不明な点がございましたら、画像診断センターまたは医療福祉連携室までお問い合わせください。

CT	COVID19ワクチン接種後、4週間あける必要はありません。
MRI	通常通りの予約オーダーが可能です。
PET/CT	<p>当院では可能であれば4週間の間隔をあけることとします。</p> <p>(COVID19ワクチン接種後反応性のリンパ腫大があることから、がんのリンパ節転移との判断に紛らわしい可能性があるため、4～6週間ほどの間隔をあけて検査することを各関連学会より推奨されています。)</p> <p>*至急検査が必要な場合は、主治医の判断にて予約オーダーをお願いいたします。 *予約時、「ワクチン接種日、接種部位」の確認をさせていただきます。</p>



今年も立派な門松

年末年始、病院正面入り口をご覧になった方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

当院OBの中村末太郎さんにご協力いただき、今年も立派な門松を飾っていただきました。

職員情報



たかさご

金子 彩華 (旧姓:遠坂)

インフルエンザ警戒中!!

人吉球磨地域でインフルエンザ感染が急増しています。感染防止対策を徹底しましょう。



マスク着用



手洗い



うがい



検温

理念 145年の歴史と設立の経緯を忘れず全人医療を提供します

基本方針
患者中心の医療
患者の人権と意思を尊重します
診療3本柱
がん・救急・予防医療を中心に医療機能の充実を図ります
完結型医療
地域の医療機関と連携し安心できる医療の展開を行います

地域包括ケア
地域包括ケアシステムを推進し地域のまちづくりに貢献します
社会貢献
災害医療派遣・医療情報公開・医療ボランティアの活動を行います
医療人育成
地域医療に貢献できる医療人の育成を行います

臨床研修理念 医師としての人格を涵養し、医学・医療の社会的役割を認識しつつ、臨床に必要な基本的診療能力を習得し、全人医療を提供できる医師を目指します。

臨床研修の基本方針
1. 人間性豊かな医療人の育成
2. 医療全般にわたる広い視野と高い見識を持つ医療人の育成
3. 患者の立場に立った医療を実践する医療人の育成
4. チーム医療のできる医療人の育成

5. 生涯学習をする医療人の育成
6. 地域医療に貢献する医療人の育成
7. 公的中核病院としての責務を自覚する医療人の育成

